

介護職員初任者研修修了

社会福祉法人九十九里ホームで初めて開催された介護職員初任者研修は、11月30日に34名全員が合格し、見事修了することができました。

介護に興味関心の深い方が応募し、7月13日に35名でスタートしました。初日は外部講師である成田国際福祉専門学校の相澤雅則先生から受講の心構えと幅広い福祉の情報をえました。その後、原則として火曜日と木曜日の午後5時30分からの講義でした。途中何回か日曜日に集中して講義を行いました。途中1名が他分野の職種に就職が決定したため、辞退となりましたが、他の34名は暑い日も雨の日も頑張りました。40名以上の講師のそれぞれわかりやすい資料を用意し、自分の持てる力を精いっぱい出し切るよう心掛けていました。

後半からは演習も入り、グループでの話し合い活動や2人組になったの実践活動など、実技を踏まえた活動もするようになりました。入浴では実際に浴室を活用し、ベッドでの移動介助やシーツ交換、オムツ交換などの演習を取り入れました。

11月30日に修了時テストを行いました。このテストでは70点以上獲得しなければ再テストとなってしまいますが、全員70点以上となり、みんな笑顔で修了式を迎えることができました。130時間という非常に長い時間、そして4ヶ月半という長い期間でしたが、それぞれの受講者の介護能力はかなり高まったのではないかと思います。この研修で学んだ受講者が将来の地域福祉の中心的な存在となっただけの事を期待します。



修了試験に臨む受講者たち



全員合格に喜ぶ受講者たち



挨拶をする井上理事長



修了証を受け取る笑顔の受講者



理事長から修了証を受け取る受講者



ねぎらいの言葉を述べる鶴之沢園長



34名の受講者全員集合

社会福祉法人九十九里ホームでは、地域福祉の担い手を育成するため、これからも介護職員初任者研修や実務者研修などを予定しています。どうぞご期待ください。

